

紀の川の植物

< 区域別の植物生息状況3 >

中流部の植生(2)

上流部では、タケの林（竹林）が広く分布し、川岸には、ネコヤナギなどがみられます。



紀の川の植物

< 区域別の植物の概要 >

下流部

汽水域

汽水域では、グラウンド等の人工的な場所が多くなっていますが、確認された植物種は284種で、シオクグ等の塩生植物のほかに、セイタカアワダチソウ等の帰化植物も多くみられます。

淡水域

淡水域では、オギ、カワラヨモギなどの河川に生育する植物のほか、セイタカアワダチソウなどの帰化植物がみられ、全部で425種の植物が確認されています。

中流部

中流部では、ヤナギ類やブナ類の樹木からバラ類やマメ類などの草本類まで、649種の植物が確認されています。

紀の川の植物

< 植物の注目種 >

紀の川において、学術上又は希少性の観点から選定した注目種は、以下の17種が確認されています。

下流部

汽水域

カワヂシャ・ウラギク・シオクグ・キンガヤツリ

淡水域

タコノアシ・カワラサイコ・ヒメミソハギ・ミゾコウジュ・イヌノフグリ・カワヂシャ・ハマウツボ・ノコギリソウ・フジバカマ

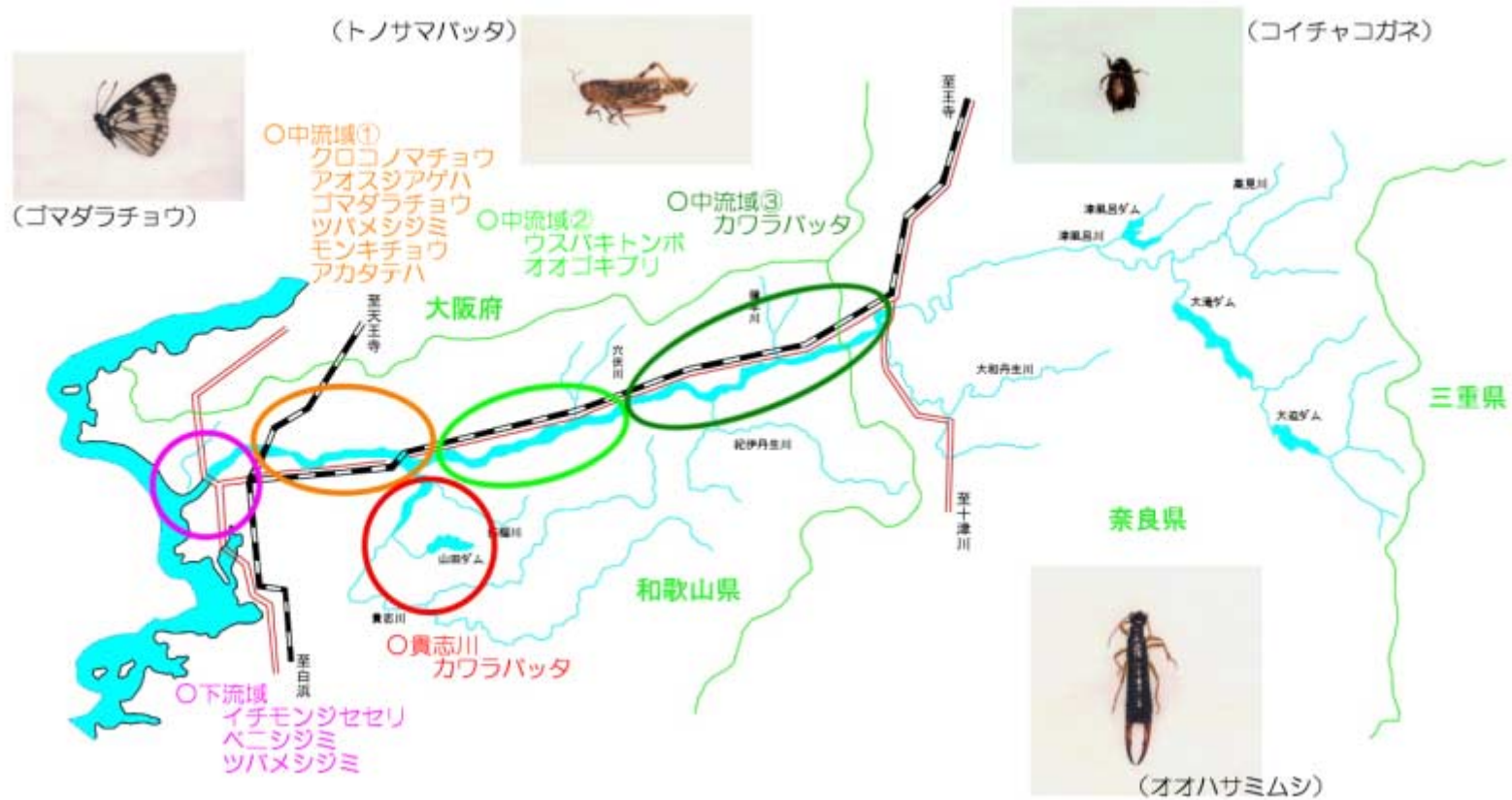
中流部

タコノアシ・ユキヤナギ・ミゾコウジュ・カワヂシャ・ハマウツボ・ノコギリソウ・フジバカマ・ミノボロ・タキキビ・ヤガミスゲ・エビネ

紀の川の昆虫

< 区域別の昆虫生息状況 >

紀の川には、河原にすむカワラバッタやヤナギの木を好むコムラサキなどのチョウのほか、色々なクモ類や昆虫類がすんでいます。



紀の川の昆虫

< 区域別の昆虫類の概要 >

下流部

汽水域

汽水域では、8種のクモ類、バッタやチョウなど400種の昆虫類が確認されていますが、汽水域の植生がグラウンド等の人工的な場所が多いため、紀の川下流部においては最も少ない確認種数となっています。

淡水域

淡水域では、26種類のクモ類と、ウスバキトンボ、ショウリョウバッタ、ナガメ、イチモンジセセリなど1207種の昆虫類が確認されています。

中流部

中流部では、42種のクモ類、シオカラトンボ、コシアキトンボなどのトンボ類をはじめ、オオハサミムシ、アオバハゴロモ、トビイロケアリなどの827種の昆虫類が確認されています。

紀の川の昆虫

< 昆虫類の注目種 >

紀の川において、学術上又は希少性の観点から選定した注目種は、以下の6種が確認されています。

下流部

汽水域

キイロカワカゲロウ

淡水域

キイロカワカゲロウ・ムスジイトトンボ・ベニイトトンボ・オツネイトンボ・イトアメンボ・ミナミアオカメムシ

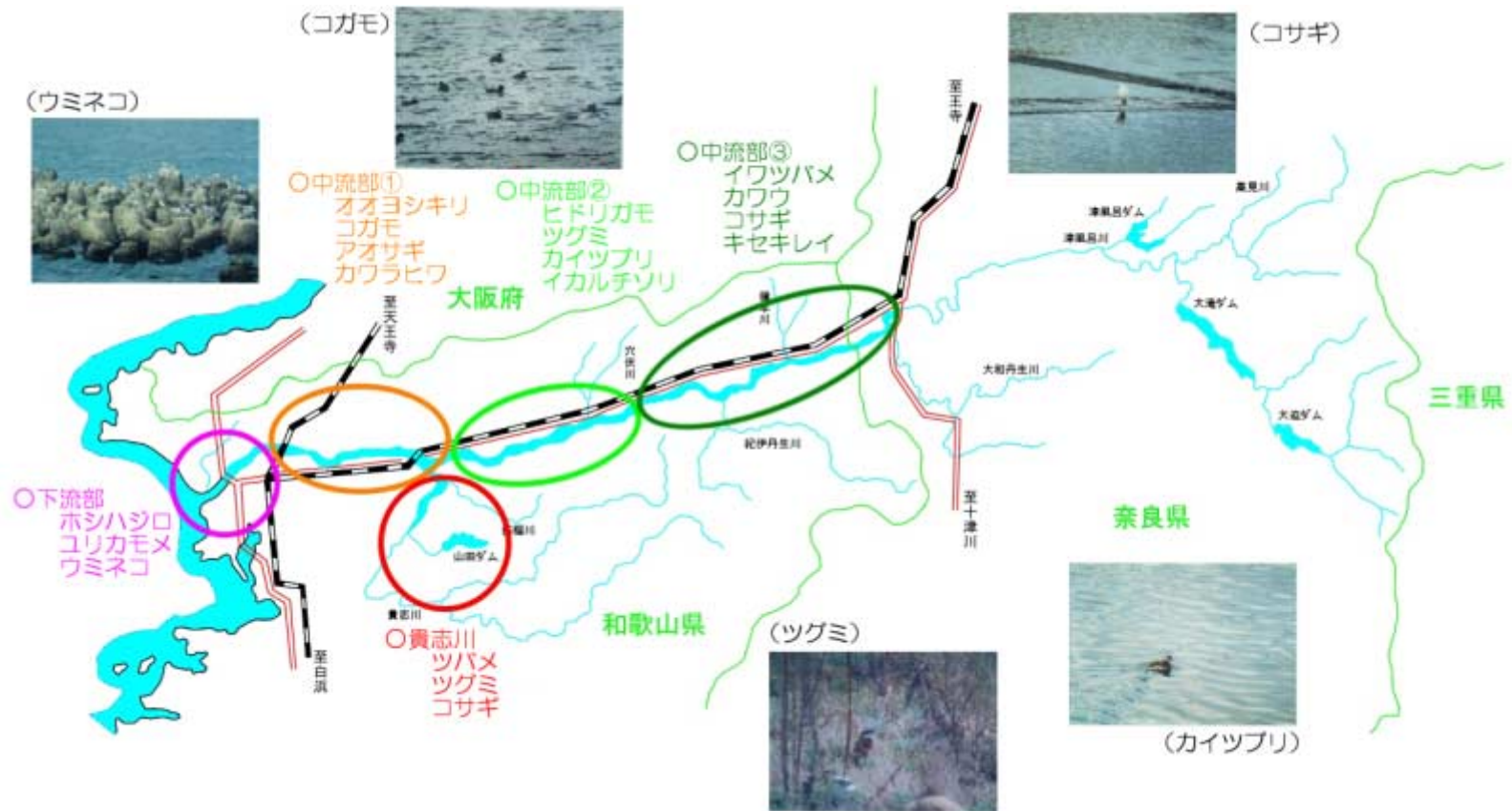
中流部

キイロカワカゲロウ・ムスジイトトンボ・ミナミアオカメムシ

紀の川の鳥類

< 区域別の鳥類生息状況 >

紀の川では、マガモ、コガモ、コサギなどの水鳥のほか、カワラヒワ、ツバメ、スズメなどの陸鳥がすんでいます。



紀の川の鳥類

< 区域別の鳥類の概要 >

下流部

汽水域

汽水域では、ホシハジロ、マガモ、ヒドリガモなどのカモメ類が多くみられ、全部で71種の鳥類が確認されています。

淡水域

淡水域では、アオサギ、コサギなどの水辺を好む鳥類、スズメ、ホオジロ、ヒバリなどの小鳥類など97種の鳥類が確認されています。

中流部

中流部では、74種の鳥類が確認されており、下流部の鳥類相と似ていますが、カッコウ、コゲラ、エナガといった主に林に生息する鳥類がみられます。

紀の川の鳥類

< 鳥類の注目種 >

紀の川において、学術上又は希少性の観点から選定した注目種は、以下の18種が確認されています。

下流部

汽水域

カンムリカイツブリ・カワウ・チュウサギ・ミサゴ・ハチクマ・ハヤブサ・タゲリ・コシャクシギ・コアジサシ・カワセミ

淡水域

カンムリカイツブリ・カワウ・チュウサギ・マガン・ヨシガモ・ミサゴ・ハチクマ・オオタカ・チュウヒ・ハヤブサ・チョウゲンボウ・ウズラ・コアジサシ・カワセミ

中流部

カワウ・チュウサギ・ツクシガモ・ヨシガモ・ミサゴ・ハチクマ・オオタカ・ハイタカ・ハヤブサ・チョウゲンボウ・ウズラ・タゲリ・カワセミ

紀の川の小動物

< 小動物生息状況 >

紀の川には、哺乳類ではカヤネズミ、ハツカネズミなどのネズミ類、タヌキ、イタチなど、両生類ではアマガエル、ウシガエルなどのカエル類、は虫類ではクサガメ、イシガメなどのカメ類やトカゲ、シマヘビなどのトカゲ・ヘビ類などの小動物がすんでいます。

紀の川の小動物

< 区域別の小動物の概要 >

下流部

汽水域

汽水域では、モグラ類、ネズミ類、タヌキ、イタチなどの哺乳類が6種、両生類（カエル）が3種、ヘビ・トカゲ類などのは虫類が3種確認されています。

淡水域

淡水域では、モグラ類、ネズミ類、タヌキ、イタチ、ウサギなどの哺乳類が14種、両生類（カエル）が6種、ヘビ・トカゲ類などのは虫類が10種確認されています。

中流部

中流部では、モグラ類、ネズミ類、タヌキ、イタチ、ウサギなどの哺乳類が10種、両生類（カエル）が5種、ヘビ・トカゲ類などのは虫類が5種確認されています。

紀の川の小動物

< 小動物の注目種 >

紀の川において、学術上又は希少性の観点から選定した注目種は、は虫類のイシガメ、スッポンの2種が確認されています。

下流部

汽水域

なし

淡水域

イシガメ・スッポン

中流部

なし